

外国特許トピックス

2023年3月
弁理士法人志賀国際特許事務所
(外国事務部 加藤基志)

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
外国特許出願に関し、最近のトピックス等をお知らせいたします。

PCT — 2022年のPCT出願件数統計

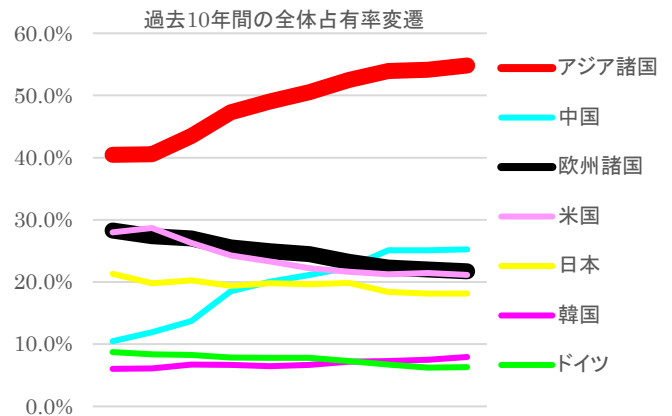
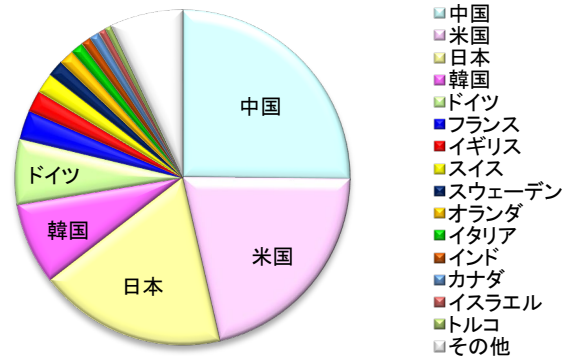
WIPOが2022年におけるPCT出願件数の暫定統計を公表しましたので、PCT出願件数の概況について紹介いたします。

1. 総出願件数

2022年のPCT出願の総出願件数は、暫定で278,100件と発表されました。これは前年(277,182件)との比較で、件数にして918件、率にして約0.33%の増加となりました。

2. 上位出願国(出願人居住国/15ヶ国)

順位	出願人居住国	2022年	前年比(%)	全体占有率
1	中国	70,015	+0.59%	25.18%
2	米国	59,056	-0.58%	21.24%
3	日本	50,345	+0.14%	18.10%
4	韓国	22,012	+6.22%	7.92%
5	ドイツ	17,530	+1.53%	6.30%
6	フランス	7,764	+5.86%	2.79%
7	イギリス	5,739	-1.75%	2.06%
8	スイス	5,367	-1.72%	1.93%
9	スウェーデン	4,471	+0.68%	1.61%
10	オランダ	4,092	-0.66%	1.47%
11	イタリア	3,333	-6.59%	1.20%
12	インド	2,618	+25.44%	0.94%
13	カナダ	2,594	-0.08%	0.93%
14	イスラエル	1,971	-7.07%	0.71%
15	トルコ	1,790	+2.93%	0.64%
—	その他	19,403	-5.83%	6.98%
	合計	278,100	+0.33%	100.00%



出願上位国の顔触れはほとんど変更ありません。前年比を見ると韓国とインドの伸びが目立ちます。右の折れ線グラフは上位5ヶ国、アジア諸国の合計、および欧州諸国の合計の過去10年間の全体占有率の変遷です。米国や欧州諸国が減少傾向であるのに対して、中国や韓国などアジア諸国は増加傾向が続いています。

3. 上位出願人

順位	出願人名	出願人居住国	2022年	前年比(件)
1	Huawei Technologies Co. Ltd	中国	7,689	+737
2	Samsung Electronics Co., Ltd	韓国	4,387	+1,346
3	Qualcomm Incorporated	米国	3,855	-76
4	三菱電機株式会社	日本	2,320	-353
5	Telefonaktiebolaget LM Ericsson (Publ)	スウェーデン	2,158	+281
6	GUANG DONG OPPO MOBILE TELECOMMUNICATIONS CORP., LTD	中国	1,963	-245
7	日本電信電話株式会社	日本	1,884	+376
7	BOE Technology Group Co., Ltd	中国	1,884	-96
9	LG Electronics Inc.	韓国	1,793	-1,092
10	パナソニックIPマネジメント株式会社	日本	1,776	+35

上位出願人10社は上記のとおりです。Huawei社が6年連続首位で独走状態です。2位のSamsung社の前年比増加件数は、韓国全体のそれ(1,289件)を上回ります。一方で9位のLG社は前年の3分の2に激減しました。LG社は2021年にモバイル事業から撤退しましたが、2029年に商用化予定の6G等次世代通信技術の開発は継続中のようですので、今後巻き返しがあるかもしれません。

■続報/2022年12月外国特許トピックス「【情報更新2022年版】特許証原本の扱い」

米国特許庁は2023年4月18日より電子特許証“eGrants”を発行すると発表しました。現在の封印付きの紙媒体から電子署名が付された電子データに変更されます。電子発行の移行期間(終期末定)は紙媒体も無料で並行して発行されますが、移行期間終了後は有料になります。特許料納付後も特許証発行までの間は分割(継続)出願が可能です。この期間が非常に短くなるため(特許番号通知から1週間未満と見込まれています)、分割出願やQPIDSの提出はできるだけ早目(特許料納付時まで)に行うことを推奨いたします。

以上